

『授業でどう使えるか考える研修に～表現活動を位置づけた模擬授業体験～』

本研修は、iPad を活用した授業や表現活動に関して、体験を通して考えてみたいと思っている先生方に受講していただきたい研修です。

●準備物・・・・・・・・

- 本研修は、ワークショップ型のため、受講者の皆さんには ZOOM 接続用のデバイスと iPad が必要になります。使用アプリは Clips です。また、Clips のバージョンは、最新にして（現在は Version 3.0）受講するように受講者にご連絡ください。
- 必要に応じて、Clips の使い方のテキスト、提示用スライド、講師用手引き等、必要なものをダウンロードして印刷し、受講者に配布してください。
- 対面で実施する場合は、拡大提示装置あるいは P J とスクリーンが必要です。

●講師の方へ・・・・・・・・

※事前に流れを確認しておきましょう。また、実施時間は 90 分となっておりますが、話し合いの時間や制作時間を調整して時間を変更することも可能です。時間の他に、理論編動画、事例動画等何を紹介するかについても事前に検討しておきましょう。

※スライド内にある解説や事例の映像は、全て YouTube にリンクづけされています。ネットワークに接続してご使用ください。You Tube からの動画を配信した後に、そのままにしておくると他の動画が流れてしまいます。きちんと、終了しましょう。

※オンライン研修では、接続の URL が見つからなくなったとか、ネット接続が切れてしまったとかのトラブルが発生することがあります。事前に、研修担当者（講師以外）の連絡先を受講者に案内しておく、突然のトラブルに対応することができます。また、研修を進行する「講師」以外に、チャット（質問）対応、トラブル対応などは役割分担することが望ましいです。

※できた作品の提出箱が必要となります。以下の2つの方法をおすすめします。

案 1) 研修担当で、提出先(共有フォルダ)を用意し、提出してもらう

案 2) (対面実施の場合に限定されますが) Air Drop で共有する。

※共有フォルダについて、以下のようなものもあります。ご参考まで。

【事前の登録が不要なもの】

- firestorage(アップロードスペースを作成する)

<https://firestorage.jp>

【事前に登録が必要なもの】

- Dropbox
- iCloud
- padlet
- Google ドライブ
- Microsoft OneDrive

●研修の主な流れ

時間	講師の指示	留意点
0-15 (15 分間)	<ul style="list-style-type: none"> ●スライド1 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認をする。 ・研修のテーマと講師の自己紹介 ●スライド2 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールについて、スライドをもとに解説する。 ●スライド3 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・研修のねらいについて、スライドをもとに解説する。 ●スライド4 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・「総論：教育の情報化の促進」（D-project 会長中川一史/放送大学教授の講義） ●スライド5 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・「情報活用能力」に関する解説（D-project 副会長前田康裕/熊本大学准教授の講義） ●スライド6 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・「メディア創造力」についての解説 D-project 副会長佐藤幸江/放送大学客員教授の講義） ●スライド7 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の活用に関して、スライドをもとに簡単に解説する。 ●スライド8 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・4つの活動の分類を示した図を簡単に解説する。 ●スライド9 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・本日のゴールを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> □「事例集」等、必要な資料を事前に印刷しておく □本研修は、実施時間は 90 分である。実施機関により調整しておく。 □理論編は 3 本ある。「総論」は必ず視聴してほしい。 □スライド内にある映像は、タップすることで開始される。You Tube からの動画は、きちんと終了する。↓ □学習の基盤として学習指導要領に明記された「情報活用能力」の解説。↓ □メディアで表現する力としての「メディア創造力」を育成するための授業デザインや到達目標等の解説。↓ □時間に余裕がある場合には、模擬授業体験の有無を尋ね、児童目線で授業を受けることに関して、少し説明をすることも考えられる。
15-25 (10 分間)	<ul style="list-style-type: none"> ●スライド10 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・Clips の操作「ビデオや写真を撮る方法」を視聴する。 ●スライド11 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・Clips の操作「テキストやステッカー絵文字などを入れる方法」を視聴する。 ●スライド12 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・D-project のサイトの紹介をする。 	<ul style="list-style-type: none"> □操作動画は、他にも作成しているの、必要に応じて D-project のサイトを紹介する。

<p>25-65 (40 分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スライド 13 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業の内容を知らせる。 ●スライド 14 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単に、単元の流れを確認する。 ●スライド 15 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの既習事項を伝える。 ●スライド 16 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業の開始を知らせる。 ●スライド 17 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3ヒントクイズづくりの授業映像を視聴する。 ●スライド 18 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の手順を知らせ、その手順に従ってクイズづくりを行う。 ●スライド 19 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3ヒントクイズづくりにかける時間は、20分間であることを知らせる。 ●スライド 20 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成した映像を使って、3ヒントクイズをする。単にクイズを楽しむのではなく、ヒントの出し方の工夫やヒントの言葉と提示される写真や映像が合っているかを考えながら視聴することが大事であることを伝える。 ●スライド 21 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業はここまでである。実際に3ヒントクイズを作成してみた感想を出し合う。 	<p>□ 模擬授業の概要を受講者に理解してもらえるように解説を加えるようにする。</p> <p>□ 授業の目標や展開から視聴するか、作品のみを視聴するか（1分58秒～）事前に決めておくようにする。</p> <p>□ 実際の授業と同じように、3ヒントクイズを視聴しながら解答させるとよい。</p> <p>□ スライド 18 をワークシートのようにして活用すると手順が分かりやすい。</p> <p>□ 実際に何時何分までかを案内するようにする。</p> <p>□ 残りの研修時間に応じて、何人の3ヒントクイズができるか考えながら、実施するようにする。</p>
<p>65-85 (20 分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スライド 22 提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現活動を授業に取り込むとすると、他にどのような教科や単元で実施できるか、アイデアを出し合う。 	<p>□ 本研修では、ここでの活動時間を 20 分間として設定している。授業アイデアを出し合う程度の時間である。実際</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●スライド 23 提示 ・他の「紹介」の授業映像を視聴する ●スライド 24 提示 ・動画を撮って活用する4つの授業場面について復習する。 	<p>の授業構想まで行いたい場合は「授業づくり」編の研修を受講するように伝える。</p> <p>□「紹介」の授業映像の中から、全体で何を視聴するか、事前に決めておくとい。</p>
85-90 (5 分間)	<ul style="list-style-type: none"> ●スライド 25 提示 ・学習者が主体的に Clips を活用して表現活動を授業に取り入れていくよさについて、解説を加える。 ●スライド 26 提示 ・研修終了 	<p>□他にも、2つの研修パッケージがあることを知らせる。</p>

※**スライド 27** を提示して、本日の研修を終了してください。

担当者の皆様、お疲れ様でした。